



報道関係者各位

2023.11
嵯峨嵐山文華館

嵯峨嵐山文華館 2024年企画展スケジュールのお知らせ

嵯峨嵐山文華館は、2024年1月8日までの間、福田美術館との共催で「ゼロからわかる江戸絵画ーあ！若冲、お！北斎、わぁ！芦雪ー」を開催しています。その後、1月から3月にかけて平安時代の傑作『源氏物語』に関する屏風などを展示する「よきかな源氏物語」を開催。春より初夏にかけては福田美術館との2館共催で美人画のコレクションを展示する「君があまりにも綺麗すぎた～福田コレクションの美人画～」、夏には多種多様な花や鳥にまつわる絵画を展示する「嵯峨嵐山かちょうえん」の開催を予定しております。2024年も嵯峨嵐山文華館ならではのラインナップに、どうぞご期待ください。

< 嵯峨嵐山文華館 企画展スケジュール >

2024.1.18（木）～4.7（日）	よきかな源氏物語
4.19（金）～7.1（月）	君があまりにも綺麗すぎた ～福田コレクションの美人画～
7.13（土）～10.1（火）	嵯峨嵐山かちょうえん
10.12（土）～2025.1.13（月）	（仮）HAIKUとHAIGA ～野ざらし紀行特別展示～
2025.1.25（土）～4.6（日）	（仮）もっと知りたい百人一首

プレスリリースに関するお問合せ

嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、樋口、神（じん）
TEL：03-6264-2045
Email：samac-pr@kyodo-pr.co.jp

2024.1.18（木）～4.7（日）

よきかな源氏物語

嵯峨嵐山は『源氏物語』にゆかりのある日本有数の観光地です。当館の周辺は、主人公・光源氏の側室だった明石の君と、二人の間に生まれた明石の姫君が居住した地域とされています。また、徒歩圏内には、光源氏のモデルになったとされる源融の山荘跡「清凉寺」、光源氏がお忍びで六条御息所を訪ねた「野宮神社」、光源氏が建てた御堂の北側にあったという「大覚寺」などが存在します。

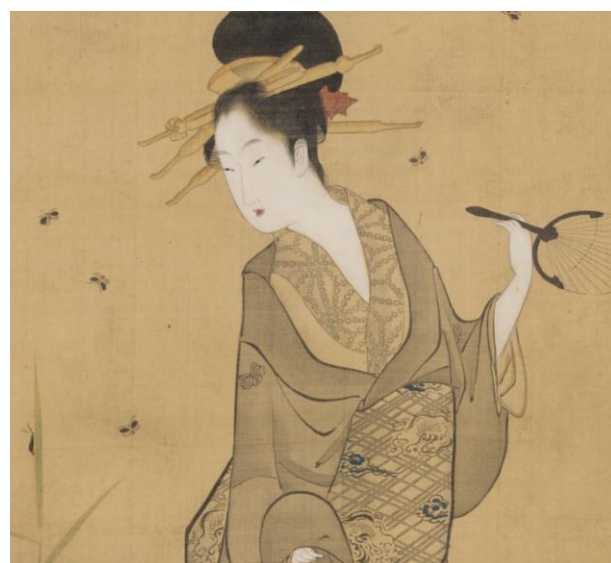
本展では千年の時を超え、今もなお愛され続ける『源氏物語』を題材にした日本画を、各場面の解説とともにご紹介します。



4.19（金）～7.1（月）

君があまりにも綺麗すぎた ～福田コレクションの美人画～

画家が画布の上に留めておきたいと願った、「綺麗すぎる」美人画の数々を福田美術館と共催で紹介する展覧会。嵯峨嵐山文華館では、まず江戸時代の人々にこよなく愛された浮世絵からスポットを当て、繊細な筆遣いで描かれたなまめかしい女性たちを展示。また、浮世絵の流れを汲む、鏑木清方（1878～1972）、北野恒富（1880～1947）、伊東深水（1898～1972）など、美人画の巨匠たちの秀作を展示する他「日本のピカソ」と呼ばれた谷角日沙春（1893～1971）の独創的な美人画もご紹介します。



7.13（土）～10.1（火）

嵯峨嵐山かちょうえん

嵯峨嵐山文華館が花鳥園に変身…？

古来、日本画の題材には欠かせない鳥と花。仲睦まじい鴛鴦や、日本の国鳥である雉をはじめ、愛らしい鳥たちが美しい花々と共に登場します。その意匠に込められた意味をも知ること、鳥や花がより身近に感じられることでしょう。



10.12（土）～2025.1.13（月）

HAIKUとHAIGA ～野ざらし紀行特別展示～（仮）

2022年、約半世紀ぶりに再発見された松尾芭蕉直筆の「野ざらし紀行」を特別展示。芭蕉にとって初めての紀行文であり、芭蕉自身の手による絵が添えられているという点で大変貴重な作品です。またそれに合わせて、芭蕉や蕪村、その門人たちによる俳句や俳画の作品を、わかりやすい解説と共に展示します。



2025.1.25（土）～4.6（日）

もっと知りたい百人一首（仮）

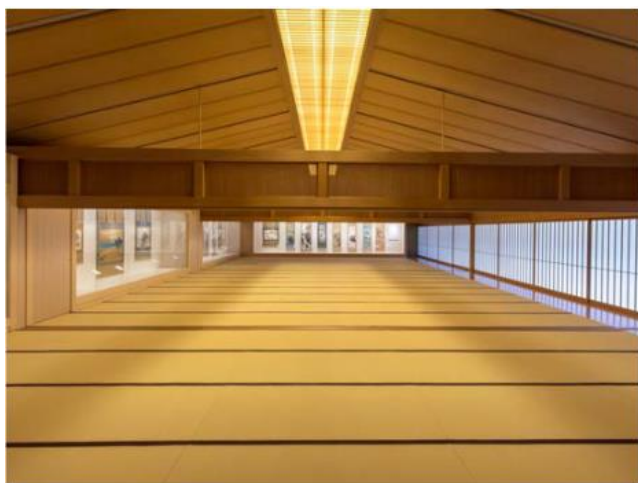
誰もが一度は学び、遊んだことがある百人一首。嵐山にある小倉山の麓で、藤原定家の息子の舅であり、懇意にしていた宇都宮頼綱の依頼によって書いた色紙が始まりとされています。競技かるたのトップ選手が集うかるた界国内最高峰の大会で、第6回ちはやふる小倉山杯の開催にちなんで、百人一首の世界を丁寧に解き明かす展覧会です。



嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が撰ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。また120畳の広々とした2階の畳ギャラリーでは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。



嵯峨嵐山文華館概要

■ 施設名称	嵯峨嵐山文華館
■ 開館時間	10:00～17:00（最終入館 16:30）
■ 休 館	展示替え期間、年末年始
■ アクセス	〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」下車徒歩14分 阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩13分 嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩5分
■ 料 金	〈嵯峨嵐山文華館〉 一般・大学生：1,000円 （高校生600円 小中学生400円 障がい者・付き添い各600円） 〈福田美術館との二館共通券〉 一般・大学生 ¥2,300 高校生 ¥1,300/小中学生 ¥750 障がい者と介添人1名まで 各¥1,300

プレスリリースに関するお問合せ

嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、樋口、神（じん）
TEL：03-6264-2045
Email：samac-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からのお問合せ

TEL：075-863-0606（代表）Email：info@fukuda-art-museum.jp